



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
Fax 68-2146



前市議会議員  
砂田喜昭



前参議院議員  
たけだ良介

# 市営バスの運行改善へ

## 来年4月から一部試行

小矢部市は現在、市営バスの再編を検討し、来年4月から一部試行を予定しています。市が検討している再編計画の概要をお知らせします。高齢者や高校生などが便利で利用できるよう改善させるために、利用者の皆さんの意見を要望を日本共産党にお寄せください。

### 現行の市営バス

**利用者の3分の2が女性**  
**19歳以下25%、60歳以上47%**

現在、メルバス（市営バス）は石動駅を中心に市内各地に路線が延びており、石動駅や市の公共施設、北陸中央病院、市内スーパー、高齢者福祉施設に行くことができます。

乗合タクシーは、前日午後9時までの予約があれば運行し、メルバスや公共交通がない地域で、決まったルートを定時に走り、メルバスのバス停でメルバスに接続しています。

現在の利用状況は、利用者の性別では女性が67%、男性が33%、年齢では、19歳以下25%、60歳以上47%、20〜60歳未満28%です。

利用目的は通勤・通学42%、買い物37%、通院19%です。



## メルバスは平日の朝夕のみ 運賃は現行通り

市が現在検討中の市営バス再編（案）では、メルバスは、通勤・通学時間帯の平日朝・夕のみ運行し、定時・定路線とします。運賃は今までとおりです。1日乗り放題で大人は200円、障がい者と小学生は100円で、後期高齢者医療被保険者（75歳以上および65歳以上の障がい者）と未就学児は無料です。

### ※オンデマンド交通とは

一般的な路線バスは運行経路（路線）・乗降地点（停留所）・運行時刻（時刻表）が定められています。一方、経路・乗降地点・時刻のいずれか、あるいは、すべてを、利用者の要求に応じて運行する乗合型の公共交通サービス形態を「オンデマンド交通」と言います。小矢部市では、現行の定時・定路線型デマンド方式乗合タクシー（前日まで予約必要）を新オンデマンド交通（区域運行型II小矢部市一円）に移行することを検討しています。

## 新オンデマンド交通

休日や平日の日中に予約に応じて

乗合タクシーと、メルバスの休日や平日の日中（8:00〜17:00）は、新オンデマンド交通（※）に移行します。

### 予約は出発の1時間前までに電話で

予約は、電話などで出発地と目的地を伝えます。予約の間隔は利用する1時間前までを検討中です。

利用者は登録が必要です。停留所は新設が容易であり、自宅前を希望することもできます（ただし、新オンデマンド交通のみで利用）。

新オンデマンドの運賃の案は、1回の乗車が大人は400円、小・中学生、後期高齢者、免許返納者、障がい者とその介助者は200円、未就学児は無料となっています。

車両は現有車両（マイクロバス2台、ハイエース3台）の有効活用と、新車両（ミニバン）で道幅の狭い地域への運行も可能にします。

### 3期に分けて実証運行

市は、2023年4月から実証実験を始める計画です。

第1期は来年4月から乗合タクシーを新オンデマンド交通で実証運行をします。

第2期は7月からメルバスの休日運行を新オンデマンド交通に移行します。

第3期は10月からメルバスは平日の通勤・通学時間帯のみの運行とし、平日の日中時間帯は新オンデマンド交通に移行します。

これで一定期間実施し、本格運行に移行する予定です。

## 利用者の声、改善に反映を

再編案では、乗り合わせる人が生じる場合に調整は必要となりますが、停留所が近くなることや、目的地へ直接向かうことができるのは、便利になると思われます。しかし、現在に比べ運賃が大幅に上がることは、利用者の納得が得られないでしょうか。「受益者負担」というのが、高齢で運転免許を手放した人の交通権を保障することこそ自治体の役割ではないでしょうか。

荒川翔平

統一の内閣だよと人が言う

関係のない人選ぶと人いない

乾麺の値段知らない お金持ち

何で税金 食って生きてる

川柳狂歌

2面に小矢部市が県内初の高齢者補聴器助成制度をつくったことを紹介した「しんぶん赤旗」を転載。

